



2026年10月期 第3四半期決算短信〔I F R S〕（連結）

2026年9月14日

上場会社名 株式会社AB&Company 上場取引所 東
コード番号 9251 URL https://ab-company.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市瀬 一浩
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 駒田 道洋 TEL 03 (4500) 1383
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第3四半期の連結業績 (2025年11月1日～2026年7月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期第3四半期	16,577	16.8	2,082	57.7	1,881	53.3	1,258	57.7	1,258	57.7	1,261	58.6
2025年10月期第3四半期	14,188	5.0	1,320	△3.6	1,227	△2.3	798	△7.8	798	△7.8	795	△8.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期第3四半期	88.31	88.31
2025年10月期第3四半期	56.23	56.10

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年10月期第3四半期	30,084	9,404	9,404	31.3
2025年10月期	27,077	8,997	8,997	33.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2026年10月期	—	0.00	—	—	—
2026年10月期 (予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年10月期の連結業績予想 (2025年11月1日～2026年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,897	18.2	2,400	47.1	2,230	49.7	1,471	64.6	1,471	64.6	103.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) RIN Beauty株式会社、除外 1社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年10月期3Q	15,247,114株	2025年10月期	15,247,114株
2026年10月期3Q	1,001,065株	2025年10月期	1,001,065株
2026年10月期3Q	14,246,049株	2025年10月期3Q	14,191,678株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は：無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(要約四半期連結損益計算書)	7
(要約四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や企業における賃上げの動きが継続する中で、個人消費には持ち直しの動きが見られ、経済活動は緩やかな回復基調で推移いたしました。インバウンド需要についても引き続き高い水準で推移するなど、サービス消費を中心に底堅い動きが見られております。一方で、物価上昇が継続する中、消費者の節約志向や選別消費の傾向も引き続き見られております。

エネルギー価格や原材料価格、人件費の上昇等により、企業を取り巻くコスト環境は引き続き厳しい状況が続いております。さらに、中東情勢をはじめとする地政学的リスクの継続や、米国を中心とした金融政策の動向、世界経済の先行き、金融資本市場及び為替相場の変動等、国内景気に影響を及ぼす不確実性は依然として高く、先行きについては引き続き注視が必要な状況となっております。

(売上収益、売上原価、売上総利益)

売上収益は、前期に実行した美容室運営法人3社のM&Aによる店舗数の増加が主因となり、前第3四半期連結累計期間比2,388百万円増加し、16,577百万円(前年同期比16.8%増)となりました。前第3四半期連結累計期間比で直営美容室運営事業が2,324百万円、フランチャイズ事業が212百万円の増収、インテリアデザイン事業が284百万円の減収となりました。

売上原価は、前期に実行した美容室運営法人3社のM&Aによる店舗数の増加が主因となり、前第3四半期連結累計期間比で1,172百万円増加し、8,628百万円(同15.7%増)となりました。

この結果、売上総利益は前第3四半期連結累計期間比1,216百万円増加し、7,948百万円(同18.1%増)となりました。

(販売費及び一般管理費、その他収益、その他費用、営業利益)

販売費及び一般管理費は、前期に実行した美容室運営法人3社のM&Aによる固定費の増加や、事業拡大に伴う人員の増加等により前第3四半期連結累計期間比で614百万円増加し、6,092百万円(同11.2%増)となりました。なお、当連結会計年度の期首より一部の有形固定資産の耐用年数及び一部の使用権資産のリース期間を見直したことにより、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は217百万円減少しております。

その他収益は、複数の直営店舗をフランチャイズ法人に対して譲渡したことが主因となり、前第3四半期連結累計期間比で161百万円増加し、258百万円(同166.5%増)となりました。

その他費用は、前第3四半期連結累計期間比で1百万円増加し、31百万円(同3.7%増)となりました。

この結果、営業利益は前第3四半期連結累計期間比で761百万円増加し、2,082百万円(同57.7%増)となりました。

(金融収益、金融費用、税引前四半期利益)

金融収益は、前第3四半期連結累計期間比で35百万円減少し、8百万円(同80.8%減)となりました。

金融費用は、前第3四半期連結累計期間比で71百万円増加し、209百万円(同52.2%増)となりました。

この結果、税引前四半期利益は前第3四半期連結累計期間比で654百万円増加し、1,881百万円(同53.3%増)となりました。

(法人所得税費用、四半期利益)

法人所得税費用は、前第3四半期連結累計期間比194百万円増加し、623百万円(同45.3%増)となりました。

四半期利益は、前第3四半期連結累計期間比で460百万円増加し、1,258百万円(同57.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(直営美容室運営事業)

直営美容室運営事業につきましては、前期に実行した美容室運営法人3社のM&Aによる店舗数の増加が主因となり、美容サービス収益が増加しました。また、一部の有形固定資産の耐用年数及び使用権資産のリース期間の見直しによる減価償却費の減少等も、セグメント利益の増加に寄与しました。この結果、売上収益は13,918百万円(同20.1%増)、外部収益は13,918百万円(同20.1%増)、セグメント利益は618百万円(同2,360.8%増)となりました。

(フランチャイズ事業)

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗の新規出店により、ロイヤリティー収益が増加いたしました。この結果、売上収益は2,411百万円(同9.7%増)、外部収益は1,536百万円(同12.9%増)、セグメント利益は991百万円(同13.9%増)となりました。

(インテリアデザイン事業)

インテリアデザイン事業につきましては、主としてフランチャイズ向けの売上が減少しました。この結果、売上収益は1,329百万円(同17.7%減)、外部収益は1,052百万円(同14.7%減)、セグメント損失は28百万円(前第3四半期連結累計期間はセグメント利益38百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,216百万円増加し、5,587百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の増加676百万円、営業債権及びその他の債権の増加219百万円、棚卸資産の増加230百万円、その他の流動資産の増加89百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,790百万円増加し、24,496百万円となりました。これは主として、有形固定資産の増加31百万円、使用権資産の増加1,344百万円、のれんの増加203百万円、無形資産の減少25百万円、その他の金融資産(非流動)の増加241百万円等によるものであります。

この結果、資産は、前連結会計年度末に比べ3,006百万円増加し、30,084百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ578百万円増加し、6,867百万円となりました。これは主として、営業債務及びその他の債務の増加63百万円、契約負債の増加219百万円、借入金(流動)の増加453百万円、リース負債(流動)の増加25百万円、未払法人所得税等の減少53百万円、消費税納付及び賞与の支払等に伴うその他の流動負債の減少128百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,021百万円増加し、13,812百万円となりました。これは主として、借入金(非流動)の増加709百万円、リース負債(非流動)の増加1,292百万円、引当金(非流動)の増加18百万円等によるものであります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べ2,599百万円増加し、20,680百万円となりました。

(資本)

資本は、前連結会計年度末に比べ407百万円増加し、9,404百万円となりました。これは主として、親会社の所有者に帰属する四半期利益による利益剰余金の増加1,258百万円と配当に伴う利益剰余金の減少854百万円との差額による利益剰余金の増加403百万円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ676百万円増加し、2,939百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は2,298百万円(前年同期は1,869百万円の増加)となりました。これは主に増加要因として税引前四半期利益1,881百万円(前年同期比654百万円の増加)、減価償却費及び償却費1,726百万円(前年同期比12百万円の減少)、金融収益及び金融費用201百万円(前年同期比107百万円の増加)、契約負債の増加203百万円(前年同期比190百万円の増加)等に対し、固定資産除売却益141百万円(前年同期比114百万円の増加)、営業債権及びその他の債権の増加186百万円(前年同期比109百万円の増加)、棚卸資産の増加224百万円(前年同期比156百万円の増加)、営業債務及びその他の債務の減少59百万円(前年同期比52百万円の増加)、利息の支払額187百万円(前年同期比72百万円の増加)、法人所得税の支払額675百万円(前年同期比98百万円の増加)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は449百万円(前年同期は359百万円の減少)となりました。これは主に増加要因として、有形固定資産の売却による収入204百万円(前年同期比146百万円の増加)、差入保証金の回収による収入9百万円(前年同期比2百万円の減少)等に対し、有形固定資産の取得による支出288百万円(前年同期比53百万円の減少)、無形資産の取得による支出9百万円(前年同期比5百万円の増加)、子会社の取得による支出304百万円(前年同期比227百万円の増加)、差入保証金の差入による支出24百万円(前年同期比32百万円の減少)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は1,172百万円(前年同期は1,347百万円の減少)となりました。これは主に長期借入れによる収入2,592百万円(前年同期比1,092百万円の増加)に対し、長期借入金の返済による支出1,435百万円(前年同期比278百万円の増加)、リース負債の返済による支出1,461百万円(前年同期比152百万円の増加)、配当金の支払額854百万円(前年同期比457百万円の増加)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月15日付で公表いたしました2026年10月期通期業績予想に変更はありません。2026年10月期においては、各セグメントの業績がいずれも堅調に推移すると見込んでおります。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,263	2,939
営業債権及びその他の債権	1,280	1,500
棚卸資産	344	574
その他の流動資産	482	572
流動資産合計	4,370	5,587
非流動資産		
有形固定資産	1,607	1,639
使用権資産	5,392	6,736
のれん	9,713	9,917
無形資産	4,374	4,348
その他の金融資産	736	977
繰延税金資産	823	832
その他の非流動資産	58	44
非流動資産合計	22,706	24,496
資産合計	27,077	30,084

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,169	1,233
契約負債	54	273
借入金	2,138	2,591
リース負債	1,837	1,862
未払法人所得税等	313	260
その他の流動負債	774	645
流動負債合計	6,288	6,867
非流動負債		
借入金	5,839	6,548
リース負債	3,662	4,954
引当金	1,026	1,044
繰延税金負債	1,263	1,264
非流動負債合計	11,791	13,812
負債合計	18,080	20,680
資本		
資本金	211	211
資本剰余金	5,018	5,018
利益剰余金	4,749	5,152
自己株式	△995	△995
その他の資本の構成要素	14	18
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,997	9,404
資本合計	8,997	9,404
負債及び資本合計	27,077	30,084

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
売上収益	14,188	16,577
売上原価	△7,456	△8,628
売上総利益	6,732	7,948
販売費及び一般管理費	△5,477	△6,092
その他収益	97	258
その他費用	△30	△31
営業利益	1,320	2,082
金融収益	43	8
金融費用	△137	△209
税引前四半期利益	1,227	1,881
法人所得税費用	△428	△623
四半期利益	798	1,258
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	798	1,258
四半期利益	798	1,258
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	56.23	88.31
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	56.10	88.31

(要約四半期連結包括利益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
四半期利益	798	1,258
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△2	3
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△2	3
税引後その他の包括利益	△2	3
四半期包括利益	795	1,261
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	795	1,261
四半期包括利益	795	1,261

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の 構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	
					新株 予約権	その他の 包括利益 累計額		
2024年11月 1 日時点の 残高	195	5, 002	4, 252	△995	8	8	8, 472	8, 472
四半期利益	—	—	798	—	—	—	798	798
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△2	△2	△2
四半期包括利益合計	—	—	798	—	—	△2	795	795
新株の発行	—	△0	—	—	—	—	△0	△0
新株予約権の行使	15	15	—	—	△0	—	30	30
剰余金の配当	—	—	△397	—	—	—	△397	△397
所有者との取引額合計	15	15	△397	—	△0	—	△366	△366
2025年 7 月31日時点の 残高	211	5, 017	4, 653	△995	7	6	8, 901	8, 901

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の 構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	
					新株 予約権	その他の 包括利益 累計額		
2025年11月 1 日時点の 残高	211	5, 018	4, 749	△995	7	6	8, 997	8, 997
四半期利益	—	—	1, 258	—	—	—	1, 258	1, 258
その他の包括利益	—	—	—	—	—	3	3	3
四半期包括利益合計	—	—	1, 258	—	—	3	1, 261	1, 261
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権の行使	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△854	—	—	—	△854	△854
所有者との取引額合計	—	—	△854	—	—	—	△854	△854
2026年 7 月31日時点の 残高	211	5, 018	5, 152	△995	7	10	9, 404	9, 404

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,227	1,881
減価償却費及び償却費	1,738	1,726
金融収益及び金融費用	93	201
固定資産除売却損益 (△は益)	△26	△141
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△77	△186
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△68	△224
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△111	△59
契約負債の増減額 (△は減少)	12	203
その他	△228	△242
小計	2,560	3,157
利息の受取額	1	2
利息の支払額	△115	△187
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△577	△675
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,869	2,298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△341	△288
有形固定資産の売却による収入	57	204
無形資産の取得による支出	△4	△9
子会社の取得による支出	△77	△304
差入保証金の差入による支出	△56	△24
差入保証金の回収による収入	11	9
匿名組合からの分配による収入	39	—
その他	10	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△359	△449
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,500	2,592
長期借入金の返済による支出	△1,156	△1,435
リース負債の返済による支出	△1,309	△1,461
配当金の支払額	△397	△854
株式の発行による収入	30	—
その他	△15	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,347	△1,172
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	162	676
現金及び現金同等物の期首残高	2,241	2,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,403	2,939

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

（有形固定資産の耐用年数及び使用権資産のリース期間の変更）

当社グループは、店舗設備等の使用実態及び今後の使用見込みを踏まえ、当連結会計年度の期首より一部の有形固定資産の耐用年数及び一部の使用権資産のリース期間を見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、使用権資産が1,739百万円、リース負債が1,754百万円増加しております。

また、当第3四半期連結累計期間において、減価償却費が217百万円減少したことにより営業利益は同額増加し、リース負債の増加等に伴う支払利息が26百万円増加したため、税引前四半期利益は191百万円増加しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは持株会社体制をとっており、当社は持株会社としてグループ経営戦略の策定及びグループ会社の経営指導等を行い、各子会社において事業活動を展開しております。当社グループは、事業の種類別に「直営美容室運営事業」、「フランチャイズ事業」及び「インテリアデザイン事業」の3つを報告セグメントとしております。

直営美容室運営事業は、当社グループにおける直営店舗の運営による美容サービスの提供を行っております。

フランチャイズ事業は、当社グループのフランチャイズ加盟店に対して、経営指導、企業ノウハウ及び教育研修の提供、プライベートブランド商品の販売、材料仕入、広告代理業務、採用、経理や管理業務の代行等を行っております。

インテリアデザイン事業は、美容室等の内装デザインや施工業者のアレンジ等のサービス提供を行っております。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	直営美容室 運営事業	フランチャ イズ事業	インテリア デザイン 事業	計				
売上収益								
外部収益	11,593	1,360	1,234	14,188	—	14,188	—	14,188
セグメント間収益	—	838	379	1,217	780	1,997	△1,997	—
計	11,593	2,198	1,614	15,406	780	16,186	△1,997	14,188
セグメント利益又は 損失 (△)	25	871	38	934	417	1,352	△31	1,320

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、本社管理事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	直営美容室 運営事業	フランチャ イズ事業	インテリア デザイン 事業	計				
売上収益								
外部収益	13,918	1,536	1,052	16,507	69	16,577	—	16,577
セグメント間収益	—	875	276	1,151	843	1,995	△1,995	—
計	13,918	2,411	1,329	17,659	913	18,572	△1,995	16,577
セグメント利益又は 損失 (△)	618	991	△28	1,581	560	2,141	△59	2,082

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、本社管理事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

(1株当たり情報)

(第3四半期連結累計期間)

(1) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	798	1,258
期中平均普通株式数(株)	14,191,678	14,246,049
基本的1株当たり四半期利益(円)	56.23	88.31

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(百万円)	798	1,258
期中平均普通株式数(株)	14,191,678	14,246,049
普通株式増加数		
ストック・オプション(株)	33,089	—
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	14,224,767	14,246,049
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	56.10	88.31

(重要な後発事象)

該当事項はありません。